

長崎県 新型コロナウイルス感染症発生状況 【2022年第43週】

2022年11月1日時点

2022年第43週（10月24日から10月30日）の長崎県における新型コロナウイルス感染症の発生状況を掲載しています。

本週報の数値は、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）^{注1}に入力されたデータをもとに集計した作成日時点の暫定値です。（県の公表値とは一致しない場合があります。）9月9日より、医療機関から提出される発生届が限定されています^{注2}。

注1 HER-SYS：新型コロナウイルス感染者等の情報を電子的に入力、一元管理し、医療機関、保健所、都道府県等の関係者間で共有、把握の迅速化を図るために運用されているシステム

注2 9月7日の厚生労働省の告示により、9月9日から医療機関からの発生届の提出が以下の方に限定されている。

- ・65歳以上
- ・入院を要する方
- ・重症化リスクがあり、コロナ治療薬の投与が必要な方
- ・重症化リスクがあり、コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な方
- ・妊婦

【発生状況】

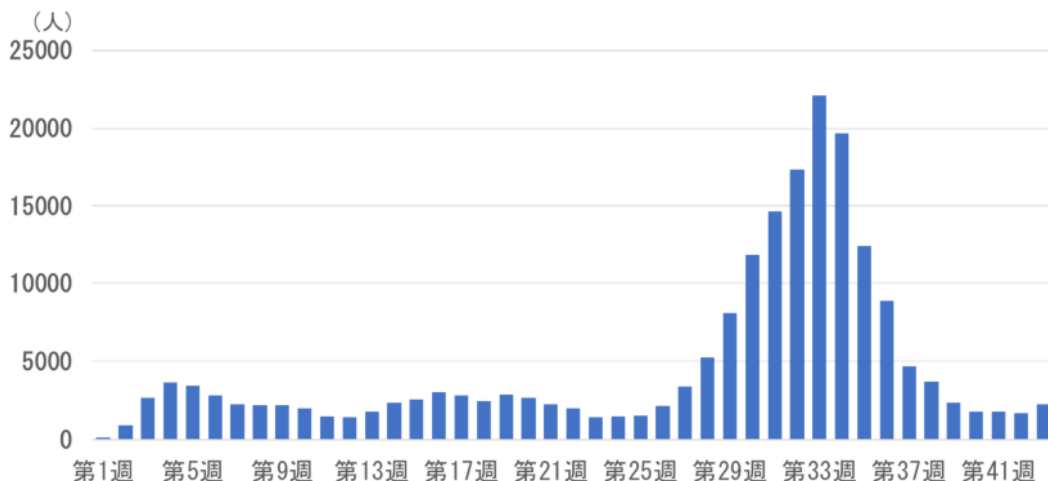
第43週の新規陽性者数は、前週より増加し、約1ヶ月ぶりに2000人を超えました。

発生届が提出された陽性者は、女性が多く、年代別では、70代が最も多く28%を占めました。推定感染場所は、「家庭」が最も多く、次いで、「福祉施設等」での感染が多くなっています。陽性者におけるワクチンの接種状況は、接種歴不明を含む陽性者全体では約6割が4回の接種を済ませています。

届出時点の重症度は、9割以上が「軽症」と診断されています。

県全体の感染者（医療機関からの報告及び陽性者判断センターで判定された感染者）において、10代の報告数が最も多く、3週連続で増加しています。

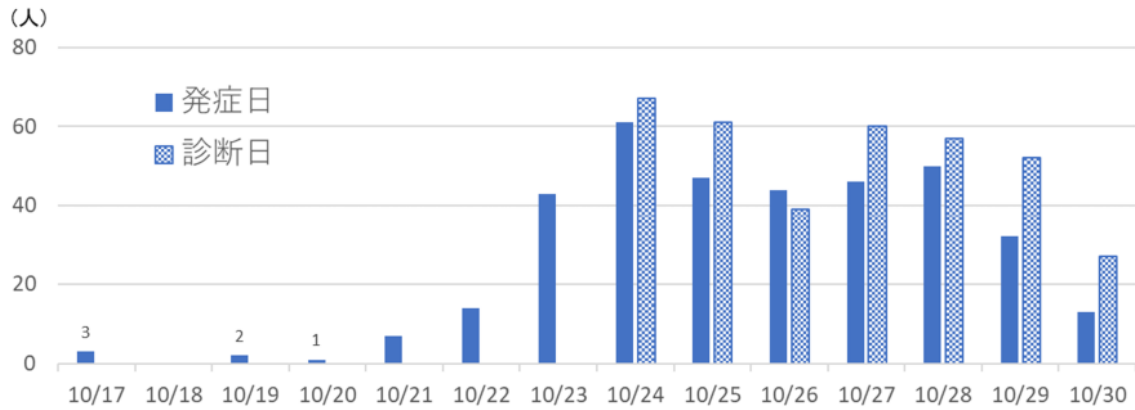
I. 新規陽性者数の推移 2022年第1週～43週（発生届提出対象外も含む、全陽性者数） （厚生労働省オープンデータより引用）



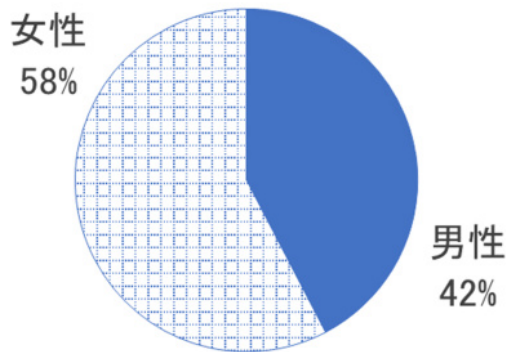
II. 医療機関から発生届が提出された感染者の状況 (発生届出件数：392件)

I. 陽性者の状況

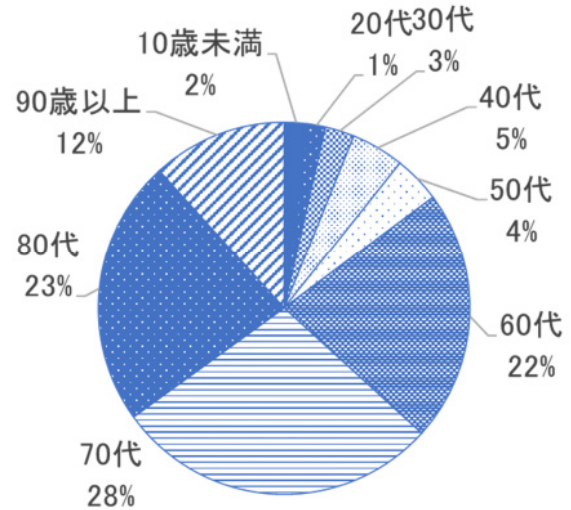
(1) 発症日、診断日別陽性者数の推移 (第43週に診断された患者363人について集計)



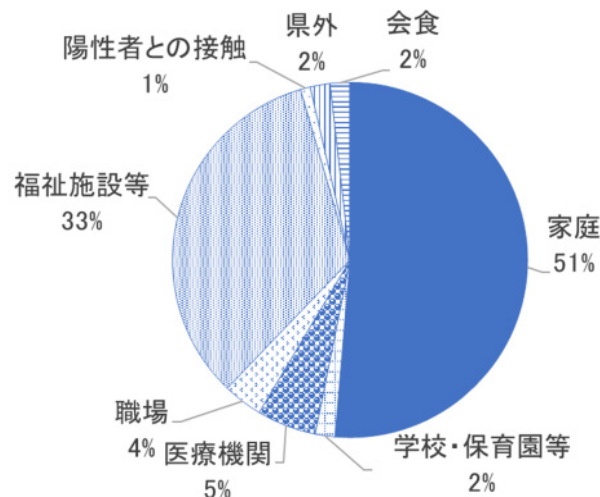
(2) 陽性者における性別割合



(3) 年代別割合



(4) 推定感染場所別割合 (感染経路、感染地域について入力のある111件について集計)



2. 地域別の状況

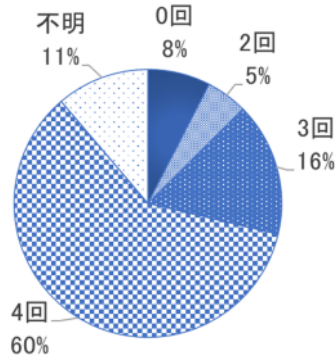
(1) 居住地別報告件数 (居住地：住民登録している住所)

集計時点までに HER-SYS に入力された件数であり、県公表数とは一致しません。

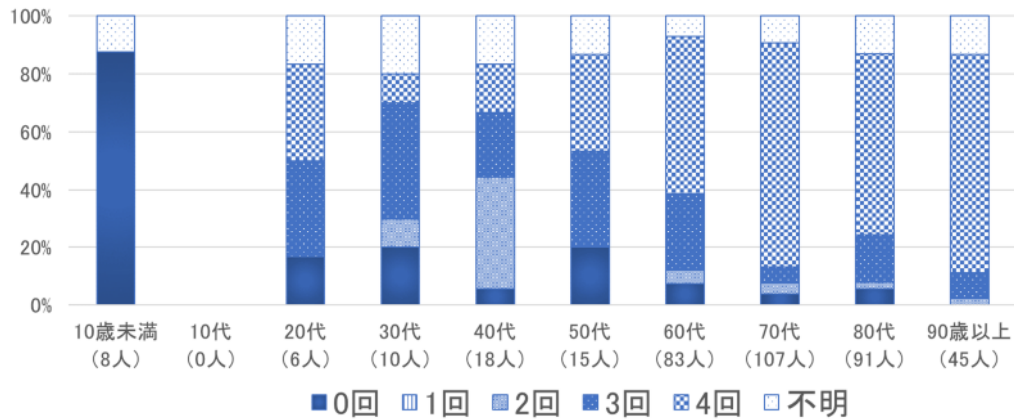
市町	件数	市町	件数	市町	件数
長崎市	108	対馬市	0	時津町	7
佐世保市	60	壱岐市	17	東彼杵町	1
島原市	12	五島市	17	川棚町	1
諫早市	24	西海市	8	波佐見町	2
大村市	33	雲仙市	7	小値賀町	0
平戸市	5	南島原市	12	佐々町	6
松浦市	4	長与町	24	新上五島町	7

3. ワクチン接種の状況 (入力のある 383 件について集計)

(1) 陽性者におけるワクチン接種回数

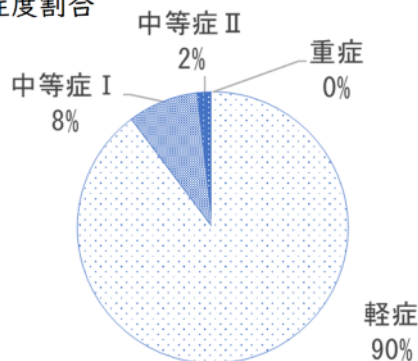


(2) 陽性者における年代別ワクチン接種回数



4. 重症度に関する情報 (入力のある 380 件について集計)

(1) 届出時点の重症度割合

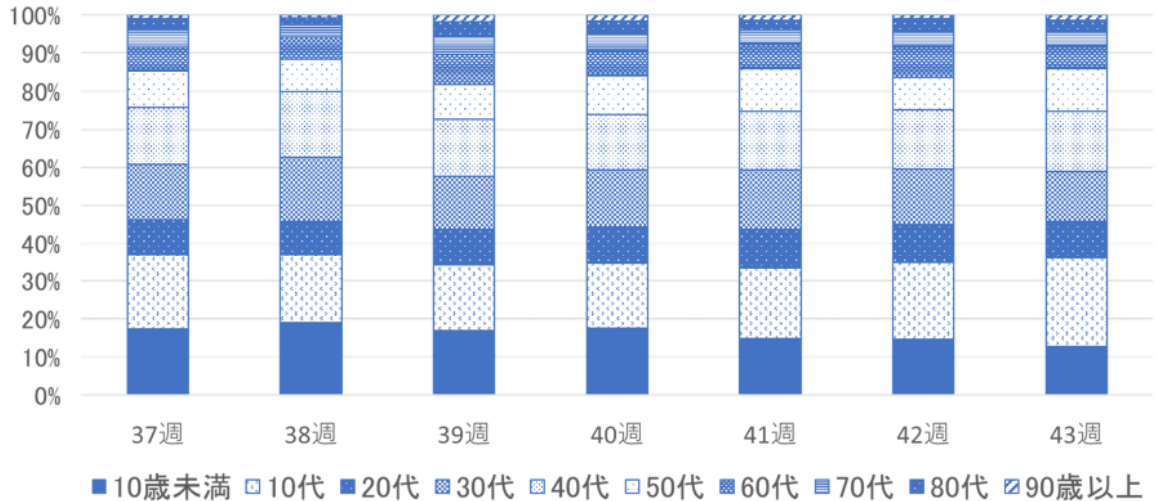


Ⅲ. 県全体の感染者の状況（医療機関からの報告及び陽性者判断センターで判定された感染者）

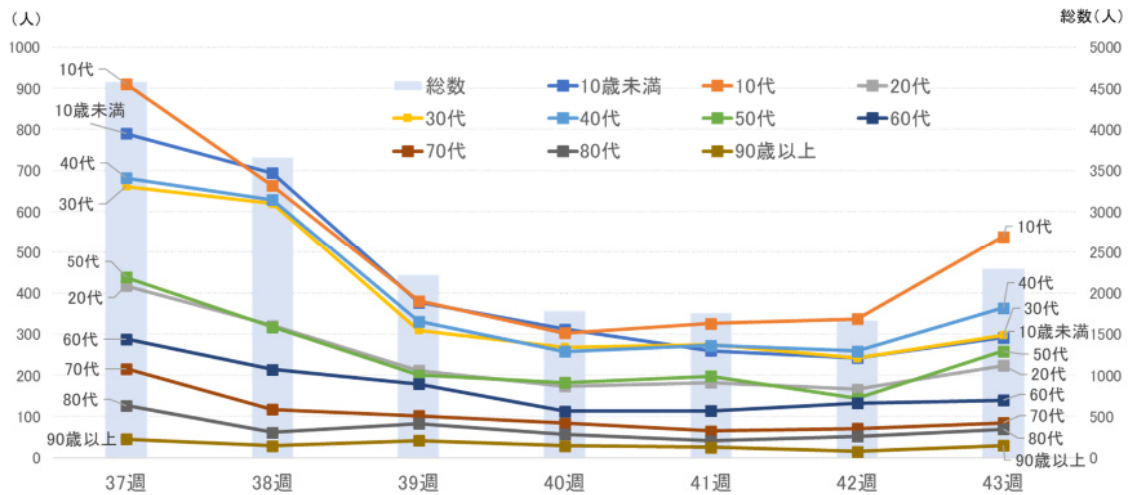
長崎県公表データに基づき、発生届の対象が限定された 2022 年第 37 週以降（9 月 12 日～）の集計をしています。

1. 感染者の年代別状況

(1) 年代別割合の推移



(2) 各年代の報告数の推移



2. 死亡例の年代別割合（2022 年第 37 週～43 週：9 月 12 日から 10 月 30 日）

報告された死亡例 26 人

